REPORT

池田泉州ホールディングス ミニディスクロージャー誌

2019.9

第4次中期経営計画の進捗 P.3

特集1 多様な収益ビジネス強化 **好調な非金利収益**

P.5

特集2将来に向けた新たなビジネス展開大阪・関西万博に向けてP.6「イノベーションファンド25」の設立

CONTENTS

- 1 トップメッセージ
- 3 第4次中期経営計画の進捗
- 5 特集1 多様な収益ビジネス強化
- 5 特集2 将来に向けた新たな ビジネス展開
- 7 企業価値の向上を支える ESG課題/SDGsへの取組み
- 11 2019年度中間期の業績
- 13 株主の皆さまへ

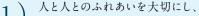


トップメッセージ



経営方針

『幅広いご縁』と『進取の精神』を大切に、 お客様のニーズに合ったサービスを提供し、 地域の皆様に『愛される』 金融グループを目指します。



-) 誠実で親しみやすく、お客様から最も『信頼される』 金融グループを創ります。
- 2) 情報収集と時代の先取りに励み、先進的で高品質なサービスの提供によって、地域での存在感が最も高い金融グループを創ります。
- 3) 健全な財務体質、高い収益力、経営効率の優位性を持つとともに、 透明性の高い経営を行い、株主の信頼に応えます。
- 4) 産・学・官のネットワークを活用し、様々なマッチングを通して、 『地域との共生』 を進めます。
- 5) 法令やルールを厳守し、環境に配慮した企業活動を行うことによって、 社会からの信頼向上に努めます。
- 6) グループ行員に、自由闊達に能力を発揮しまた能力向上を図れる職場を提供するとともに、よき市民としての成長を支援していきます。

SDGsが 達成される 社会の実現に 向けて…





皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

本年9月に発覚しました、池田泉州銀行の元行員が起こした不祥事につきまして、株主の皆さまやお客さまならびに地域の方々に、多大なご心配、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。コンプライアンス体制を強化し、再発防止に全力で取り組んでまいります。

さて、池田泉州ホールディングスの2019年度中間期の業績ならびに第4次中期 経営計画の進捗状況について、お知らせいたします。

池田泉州ホールディングスでは、第4次中期経営計画で掲げた体質強化を更に拡大し前倒しで進めていくため、経営課題を3つに分け、「3本の矢」に例えた抜本的な戦略を打ち出しました。

【第1の矢】B/S問題の解決は、有価証券含み損の処理です。外国債券の含み損を一掃し、有価証券は含み益に転じております。

【第2の矢】P/L問題の解決では、店舗体制を大きく見直し、経費の抜本的な削減を進めることにより、本業で利益を上げられる体質への転換を図ります。これにより、前年度より本業利益は黒字に転換、本中間期の本業利益も計画以上の水準を達成することができました。引き続き、構造改革を推し進め、安定的に収益を上げうる体質を確たるものにしてまいります。

【第3の矢】 Vision'25は、私どもの成長戦略です。万博開催を見据え、これから発展が見込まれる大阪・関西で、いかに地域の皆さまのお役に立てるかという観点で、私どもの将来ビジョン(成長戦略)の策定を進めております。

池田泉州ホールディングスは、経営理念として、地域の皆さまに『愛される』金融 グループを目指しております。大阪・関西万博のテーマでもある「SDGsが達成 される社会」の実現に向け、本業を通じて地域におけるSDGsの実現に貢献する ことで、企業としての中長期的な成長を目指してまいります。

役職員一同、全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月

取締役社長CEO 鵜川 淳

Senshu Ikeda Holdings,Inc.

第4次中期経営計画の進捗

私どもは、第4次中期経営計画を「将来に向けた体質強化期間」と位置づけ、この計画期間で、 収益構造の大きな見直しに着手いたします。将来に向けて、"本業利益"を核とした収益構造への転換を図り、 将来も地域で選ばれる銀行グループを目指してまいります。

課題解決に向けた 3本の矢

第1の矢

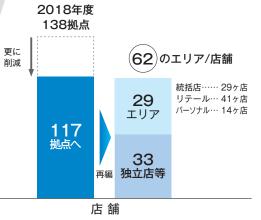
有価証券含み損の抜本的な処理

2018年度実績

- 外債処理は、前倒しで中計目標以上を達成、 含み損益はプラスに(B/S問題に決着)
- ■有価証券投資を抑制し、 地域のお客さまとの取引(本業)を強化
- 更に2019年度中間期の純投資含み益 は、前期末比+83億円増加

▶第2の矢 店舗体制の見直しとお客さま

- ○更に踏み込んだ店舗体制へ見直し
- 営業店事務の本部集中拡大



●店舗体制を大きく見直し

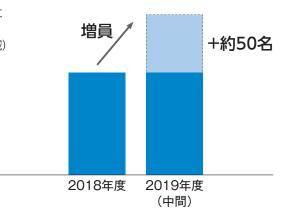
- ▶有人拠点を大きく移設・統合 (138拠点→117拠点)
- ▶残った有人拠点をマーケット に応じて再編(29エリア 独 立店32ヶ店 出張所1ヶ店)
- →事務人員、融資人員を集約、 営業人員を増強

■営業人員

▶預金事務・融資事務の大半を本部に 一括集中 (営業店事務の軽量化と事務人員削減)

●営業店事務の効率化

▶タブレット端末の活用拡大 (営業店に行かなくてもできる業務 を拡大)



本位の業務運営の追求 P/L問題の解決

226

202

2017 2018 2019

年度 年度 年度

人件費

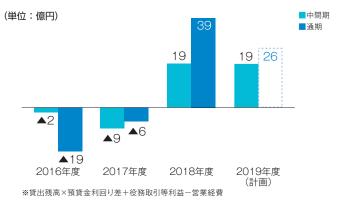
●人件費/物件費の削減状況

- ▶牛産性向上に資する取組み(営業/ 店舗、業務、働き方)を進め、引 き続き人件費を抑制
- ▶聖域なきコスト改革により、一般 物件費は大きく低減 中期経営計画の前倒し達成を見込 む

●安定的な本業利益の確立

- ▶非金利収益の増強、経費の抜本的 な見直しにより、2018年度の本 業利益は黒字に転換
- ▶2019年度中間期も計画以上の 水準を達成

▲本業利益の推移



第3の矢

(単位:億円)

125 115

2017 2018 2019

年度 年度 年度

物件費 (システム関連除く)

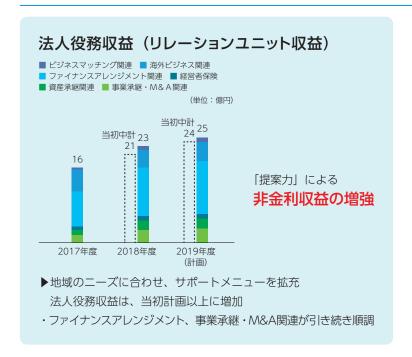
徹底したソリューション ビジネスで地域のお役に立つ 金融機関へ

2025年に向けて

- Vision'25 2025年大阪・関西飛躍の年に向け、 当社の取組みを整理の上、実行
- ■万博ベンチャーファンドの創設 (イノベーションファンド25)

* | _{将来に向けた新たなビジネス展開} | 大阪・関西万博に向けて「イノベーションファンド25」の設立

役務収益





- ▶投信保険販売手数料は順調に増加
- ・人生100年時代を見据え、資産形成 ニーズへの対応(顧客本位の業務運 営の徹底)
- ・アセットアドバイザー (AA) による 顧客基盤の拡充

UP! ◯ 取扱開始から1年。寄付型私募債「絆ふかまる」が好調 ~ ファイナンスアレンジメント業務 ~

- ▶2018年10月、寄付型私募債「絆ふかまる」の取扱いを開始
- ▶2019年7月からは「百舌鳥・古市古墳 群」世界文化遺産の保存を応援する私 募債の取扱いも開始





TOPICS 大阪・関西万博に向けた地域活性化ファンドを始動!

池田泉州銀行は、池田泉州キャピタルを無限責任組合員として、大阪・関西地域のオープンイノベーションによるベンチャーファンド「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合」(以下、「イノベーションファンド25」)を設立しました。

2025年の大阪・関西万博(以下、「万博」)開催を見据え、万博のテーマでもある「SDGsが達成される社会」「Society5.0 の実現」に向け、「イノベーションファンド25」を通じて、イノベーション創出が期待できる独自性の高い技術・サービスを保有し、今後将来性が見込まれる企業を育成し、地域への貢献に取り組んでまいります。

ファンドスキーム概略





TOPICS 「イノベーションファンド25」を通じた連携に関する協定の締結!

大阪府、大阪市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行、関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合(通称「イノベーションファンド25」、無限責任組合員:池田泉州キャピタル株式会社)の7者は、大阪・関西万博のテーマに関連するビジネスの創出と、大阪におけるイノベーション・エコシステムの形成による持続的経済成長を通じて、「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」を目指すことを目的として、「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合」を通じた連携に関する協定を締結しました。



「イノベーションファンド25」を通じた連携協定書 締結式

5 Senshu Ikeda Holdings,Inc.

ESG課題/SDGsへの取組み

企業価値の向上を支えるESG課題/SDGsへの取組み

池田泉州ホールディングスグループでは、地域の持続的な成長があって初めて当社グループも成長できるとの考えの下、地域社会のESG課題/SDGsの解決に積極的に取り組んでまいります。

ESG課題/SDGs

- 気候変動・異常気象の増加
- 少子高齢化・人口減少
- ■地域経済の減退

- ■デジタライゼーションの進展
- ■動き方改革への要請
- リスク管理高度化への要請

経営理念

経営方針

池田泉州ホールディングスのESG活動

















経営理念と経営方針に基づき、ESG課題/SDGsに取り組むことで、 地域への弛まぬ貢献を続けてまいります。



社会からの信頼向上に向けて

環境とともに次世代へ

池田泉州ホールディングスグループでは、本業を通じた支援と当社グループ自身の取組みの両面から地域の環境保全に貢献していきます。

池田泉州ホールディングスグループの 社会的責任投資への取組み









サステナブル・ディベロップメント・ボンドの販売

池田泉州TT証券

サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。

池田泉州TT証券は設立6周年にあたり、投資を通じた社会貢献をしたいという投資家の皆様の思いと、世界銀行が開発途上国で展開するプロジェクトへの橋渡し役となり、今後も社会的責任投資を推進してまいります。



©World Ban

▶主な取組み

池田泉州ホールディングスグループの取組み

- 環境に配慮した店舗づくり (太陽光発電・屋上緑化)
- 職員ボランティアによる環境保全活動
- エコスコープ (温室効果ガス排出量) の低減を 意識した取組み







職員ボランティアによる草刈活動

お客さまビジネスを通した取組み

法人

- 事業者向けの「省エネ」「創エネ」等、環境に関する大阪府、大阪市との連携に基づく各種セミナーの開催・協力
- 環境応援ローン、環境応援融資ファンドの取扱い
- 環境格付融資

個人

- 太陽光発電ローン等、各種環境配慮型融資商品の取扱い
- グリーンボンドの取扱い

池田泉州丁丁証券

● サステナブル・ディベロップ メント・ボンドの取扱い

池田泉州丁丁証券



『地域との共存共栄』に向けて

社会とともに次世代へ

池田泉州ホールディングスグループでは、「地域との共存共栄」を目指し、地域・社会における 課題解決に資する取組みを進めております。

地域の人材不足解消に向けた取組み

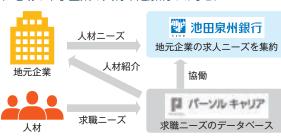


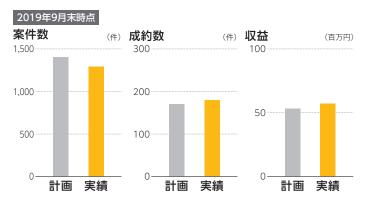




職業紹介業務の開始

- ▶2018年12月、パーソルキャリア株式会社と協働し、 職業紹介業務を開始しました。
- ▶地域の中小企業の人材不足解消のお手伝い





PICK UP!!

地元中小企業の外国人留学生採用活動を支援

▶2019年9月、池田泉州 銀行は、森興産株式会 社と連携し、「外国人留 学生合同企業面接会」 を共同開催しました。



定着フォロー







透明性の高い経営に向けて

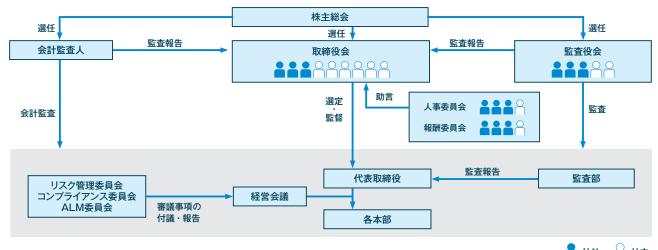
持続可能な成長の礎となるガバナンス態勢

池田泉州ホールディングスグループでは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、 コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでおります。

透明性・客観性の高いコーポレート・ガバナンス

池田泉州ホールディングスでは、経営理念の実現に向け、経営の透明性を高め、 コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。

当社グループのコーポレート・ガバナンス概略図



リスク管理強化に向けた取組み

- ■収益・リスク・資本のバランスを踏まえた経営資源の配賦
- ■ビジネスモデルの持続性検証、予兆管理の徹底
- ■コンプライアンス体制の強化~ 不祥事防止に向け、コンプライアンスと事務体制を再徹底

Senshu Ikeda Holdings,Inc.

2019年度中間期の業績

中間純利益 18億円 (mfn mm) (mfn mm) (mfn mm)

■中間期

業績ハイライト

預貸金収支



経費削減の進捗





本業利益※の状況



中間連結財務諸表(池田泉州ホールディングス)

中間連結貸借対照表

(2019年9月30日現在)		
—————————————————————————————————————	金額	
(資産の部)		(負債
現金預け金	799,427	預金
コールローン及び買入手形	11,134	債差
買入金銭債権	99	借戶
商品有価証券	97	外
金銭の信託	26,984	その
有価証券	577,580	賞 ⁴
貸出金	3,900,313	退
外国為替	5,309	役員
その他資産	82,693	睡
有形固定資産	38,957	ポー
無形固定資産	5,443	債務
退職給付に係る資産	14,423	偶多
繰延税金資産	6,778	特別
支払承諾見返	8,235	繰延
貸倒引当金	△12,491	支持

	(= = -/3 3/
科目	金額
(負債の部)	
預金	4,971,258
債券貸借取引受入担保金	38,336
借用金	143,430
外国為替	802
その他負債	58,881
賞与引当金	1,473
退職給付に係る負債	148
役員退職慰労引当金	4
睡眠預金払戻損失引当金	606
ポイント引当金	156
債務保証損失引当金	514
偶発損失引当金	863
特別法上の引当金	5
繰延税金負債	197
支払承諾	8,235
負債の部合計	5,224,916

(単位:百万円)

240.071
2,254
69
計 14,795
2,205
△145
12,735
222,952
△298
78,146
42,105
102,999

(2019年4月1日から2019年9月30日まで) (単位:百万円)

(2010+471102 32010+0710000	· (+E: 17717)
科目	金額

科目	金額
経常収益	45,136
資金運用収益	22,232
(うち貸出金利息)	(19,651)
(うち有価証券利息配当金)	(2,238)
役務取引等収益	10,709
その他業務収益	3 981
その他経常収益	8,212
経常費用	43,378
資金調達費用	1,688
(うち預金利息)	(724)
役務取引等費用	3.636
その他業務費用	5,531
営業経費	24,035
その他経常費用	8,486
経常利益	1,757
持別利益	363
持別損失	88
税金等調整前中間純利益	2,032
法人税、住民税及び事業税	419
法人税等調整額	△200
法人税等合計	218
中間純利益	1,813
非支配株主に帰属する中間純損失	9
親会社株主に帰属する中間純利益	1,822

Senshu Ikeda Holdings,Inc. Senshu Ikeda Holdings,Inc.

資産の部合計

5,464,987

株主からの信頼に応えるために

株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。 株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動などをご説明し、当社へのご理解を深めていただくとともに、 皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

池田泉州ホールディングスのコーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方

- (1) 株主の皆さまの権利を尊重するとともに、平等性の確保に努めます。
- (2) ステークホルダーの利益を考慮するとともに、適切な協働に努めます。
- (3) 会社情報を適切に開示するとともに、その会社情報の透明性の確保に努めます。
- (4) 取締役会及び監査役会は株主の皆さまに対する受託者責任等を踏まえ、業務執行の監督及び監査の実効性向上に 努めます。
- (5) 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、株主の皆さまとの建設的な対話に努めます。

IRカレンダー

今後もタイムリーに決算内容などの財務情報をホームページなどでお知らせいたします。



株主懇談会

当社では、株主の皆さまとの対話の場とし て、株主懇談会を開催しております。

昨年12月に開催した株主懇談会では、 近況のご報告・外部講師による講演、株主 の皆さまとの懇話会を行いました。

本年も12月4日、12月6日の2回にわけて 開催する予定です。







株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度をご用意 しております。

地域ブランド発信の想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食 材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えたカタログギフ トの中からお選びいただけます。

とっておきの地域特産品等をラインナップ!



フェイスタオル

保有株数	保有期間	優待内容	
10,000株以上	3年以上	株主優待カタログ(地域特産品等) 10,000円相当 および	
	3年未満	株主優待カタログ(地域特産品等) 5,000円相当	
6,000株以上	3年以上	株主優待カタログ(地域特産品等) 5,000円相当	株主優待定期預金
10,000株未満	3年未満	株主優待カタログ(地域特産品等) 3,000円相当	(0.1%の金利アップ クーポン)
2,000株以上	3年以上	株主優待カタログ(地域特産品等) 3,000円相当	7 3.27
6,000株未満	3年未満	株主優待カタログ(地域特産品等) 2,000円相当	
200株以上 2,000株未満	_	株主優待定期預金(0.1%の金利アップクーポン)	

▶継続保有期間3年以上とは、「3月末および9月末時点の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記録されていること」としております。 [例] 保有株数10,000株以上、継続保有期間3年以上の株主さまとは、「3月末および9月末時点の株主名簿に同一株主番号で、保有株数が 10.000株以上であることが、連続7回以上記録された株主さま になります。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人東京都	
定時株主総会	毎年6月	及び特別口座の 口座管理機関	三菱UF
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	口注 旨 坯 (成 民	〒541-8
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日	同連絡先	大阪市中 三菱UF 大阪証券
公告掲載方法	電子公告により行います。 ■公告掲載URL https://www.senshuikeda-hd.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告を行うことができない場合は、産業	上場証券取引所	東京証券
単元株式数	経済新聞に掲載して行います。) 100株	のホームページを https://wwv	_ , , ,,

千代田区丸の内一丁目4番5号 FJ信託銀行株式会社 8502

中央区伏見町三丁目6番3号 FJ信託銀行株式会社 券代行部 120-094-777

券取引所

くは三菱UFJ信託銀行株式会社 ださい。

g.ip/daikou/



池田泉州銀行のホームページを

大幅リニューアルいたしました

お客さまのさらなる利便性の向上を図るた め、10月1日にホームページのリニューアル を実施しました。

今回のリニューアルでは、トップページ、 個人のお客さま向けページのデザイン・レイ アウトを一新し、より見やすく、使いやすい デザインにしました。





会社概要

■ Profile (2019年9月末日現在)

■ 池田泉州ホールディングス

設 立 日 2009年10月1日 本社所在地 大阪市北区茶屋町 18番14号

資 本 金 1.029億円 従業員数 108名

上場取引所 東京証券取引所

■ 池田泉州銀行

設 立 日 1951年9月1日 本社所在地 大阪市北区茶屋町 18番14号

資 本 金 613億円

金 4兆9.928億円

貸 出 金 3兆9,173億円

店 舗 数 140ヵ店 従業員数 2,457名

■ 池田泉州TT証券

設 立 日 2013年1月30日

本社所在地 大阪市北区茶屋町 18番14号

資 本 金 12億5.000万円

預り資産残高 1.170億円

店舗数5ヵ店

従業員数 119名